

事業所名

放課後等デイサービスぶるどっぐ

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念		親も子どももいきいきと生きられるように。地域福祉の発展と貢献に …生きづらさを抱える子どもだけでなく、保護者様の視点になって、親も子どももいきいきと生きられるような支援を行う。 …地域に貢献する地域福祉の選択肢の一つとして選んでいただく。								
支援方針		子どもを主体とした支援を行い、遊びを通じた「楽しい!」という心の動きから、ルールを守る協調性や社会性を育む環境を提供します。 共に笑い、響き合う日々の積み重ねを大切に、社会へ踏み出す一歩の自信を育て、保護者と共にその成長を共感できる支援を行います。								
営業時間		9 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	健康的な生活習慣の確立とともに、社会生活を見据えた自己管理を目的とする。 スケジュール管理や調理活動を通じ、公共の場でのマナーや準備・片付けを「自分の役割」として自律的に行えるよう支援する。								
	運動・感覚	身体機能の強化に加え、集団スポーツやチーム活動を通じた身体のコントロールを学ぶ。 公園や教具を用いた遊びの中で、順番を待つ・場所を譲り合うといった「空間とルールの共有」を段階的に身につけられるよう支援する。								
	認知・行動	静寂を感じる時間を取り入れ、深い集中力と自己抑制を養う。集団での外出を通じ、交通ルールや公共施設の利用方法など「社会のルール」を実体験から学び、失敗体験も含めて柔軟に対応できる心を育てる。								
	言語 コミュニケーション	自分の意見を伝えつつ、他者の意見を聴く双方向のコミュニケーションを目指す。適切な言葉遣いはもちろん、状況に応じた振る舞い（TP0）を学べるよう、活動の中での対話やスタッフの適切な介入・助言を行う。								
	人間関係 社会性	「友達とのルール作り」を重視し、遊びを通じて仲間と合意形成を図る経験を積む。スタッフが仲介役となり、トラブル解決のプロセスを共に歩むことで、地域社会へ踏み出す実践的な対人関係のスキルを習得する。								
家族支援		保護者の悩みに寄り添い、家庭と事業所が連携して子どもの自立を支える相談・助言を行う。			移行支援		ライフステージの切り替えを見据え、より広い社会へ移行するための準備支援を、集団活動を通じて行う。			
地域支援・地域連携		将来的に子どもたちが地域で生活する上で、より生きやすい社会を作ること为目标とした包括的な支援を行う。そのために医療機関、保健所、児童相談所等の専門機関との連携、個別のケース検討のための会議への出席等を適宜行う。			職員の質の向上		外部研修への参加や社内伝達研修を行い、常に高い専門性を持って子どもたちの成長をサポートする。			
主な行事等		季節の移り変わりを感じられるように、各季節に沿ったイベントを開催する。例として、夏祭り、クリスマス会、餅つき大会、プールなど。単一の事業所だけでなく、可能な限り複数の事業所で協力して開催し、あまり接することのない利用者同士の関わりが持てる機会を用意する。								